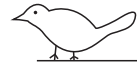


[特集] 事業所交流活動

社会福祉法人そよかぜの機関紙

第144号
発行2021.1.17
年4回発行



社会福祉法人そよかぜ
羽村市栄町3-3-1
☎042-578-0855
fax.042-578-0466

そよかぜだより

新春を迎えて

社会福祉法人そよかぜ理事長
加藤照夫

新年明けましておめでとうございませう。皆様が輝かしい新春を迎えられたことを心からお喜び申し上げます。

昨年1月に我が国でも感染が確認された新型コロナウイルス感染症の拡大という大変な災禍が世界を襲い、4年に一度の世界的大イベントである東京オリンピック・パラリンピックも延期となりました。そよかぜでは、国や東京都からの通知、羽村市行政当局からの情報提供及び助言



等を基に、各事業所で新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら事業運営を行って参りました。地域の皆様からのご支援ご協力を賜り、無事に一年を過ごすことができましたことを心より感謝申し上げます。

コロナ禍は予断を許さない状況が続いておりますが、海外では待望のワクチン接種が開始されるなどの明るい情報も聞かれるようになりました。本年も新型コロナウイルス感染症の対策に取り組み、役職員が一丸となって障害福祉事業の推進を果たしていきたいと存じます。

新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を祈ると共に、本年も変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人
そよかぜ 役員

理事長
加藤照夫

副理事長
井上克巳

理事

田村義明

田口尚子

羽村富男

監事

堀内政樹

評議員

羽村義男

石田茂

川津紘順

橋本唯隆

水上京子

橋本芳明

川村孝俊

下田忠男

栗原悦男

田村志津子

評議員
選任解任委員

増田常夫

雨倉久行

羽村義男

石田茂



コ ロナ禍の影響により、マスクの着用や3密などといった生活のスタイルが大幅に変化しました。普段は、変化に対応するのが苦手な利用者もおりますが、事態の重要性を認識して気をつけている様子が伺えます。

当法人においても新型コロナウイルスへの対応として、利用される方や職員等の安全安心を第一に、できる限りの感染防止対策を講じながら、それぞれの事業活動が継続されている状況です。

例年であれば、それぞれの事業所で一年の始まりを祝う新年会、春のお花見、秋の日帰り旅行といった日頃の労をねぎらう想いと趣向を凝らしたイベントが計画されていました。

特に当法人の全事業所が一堂に会して行われる事

業所交流会は利用者の方をはじめ参加者が楽しみにしていた交流イベントでしたが残念ながらコロナ禍の影響により中止にせざるを得なくなりました。

事業所交流会の中止を受けて、実行委員会では「コロナ禍であっても「何かみんなのできることはないか?」「みんなで交流を深め、楽しめることはないか?」と活発な話し合いがされました。

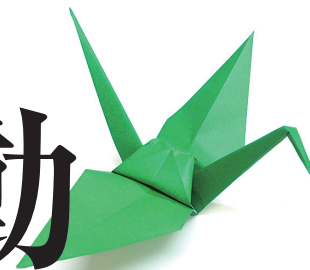
そこから寄せられたアイデアをもとに

- **千羽鶴作り** コロナの終息を願い、みんなのメッセージを届けよう!
- **オリジナル エコバッグ作り** レジ袋削減(エコ)に貢献しよう!
- **笑顔の写真** みんなの笑顔でコロナを吹き飛ばそう!

の3つの目的を掲げて各事業所で取り組むことになりました。

[特集]

事業所交流活動



今回の特集では、活動に取り組むみんなの想いや、活動の様子などをお届けします。皆々様の息災とコロナ禍の一日も早い終息を祈念して。



千羽鶴に願いを込めて

今年は新型コロナウイルスにより作業が出来なくなったり、旅行に行けなくなったりと沢山の我慢が続いていました。しかし、「こんな時だからこそ、皆でやれることがあるのではないか?」という思いから当法人で関わりのある方々が共同して出来る活動として生まれたのが「皆で千羽鶴を作ろう!」でした。

「コロナなんかに負けない! 皆で乗り切ろう! そして市民の皆様にも思いを伝えたい、元気を届けたい」という願いを一つにして施設の利用者や役職員が慣れない折り紙と格闘しながらも願いを込めて、二千羽の鶴を折り上げることが出来ました。

市役所での展示を終え保健センター、福祉センターで展示されています。市民の皆様目の目に触れ、少しでも多くの人と思いを共有できれば嬉しく思います。



笑顔の写真展

普段はマスクをしっかりと感染予防をしているところですが、みんなのステキな笑顔が見たくなり、利用者・職員・役員のみなさん一人ひとりの笑顔の写真を撮らせていただきました。

笑顔の写真展は、カラー写真でハートの形を作り展示をしました。モノクロ写真も並べて展示していますが、味わいがあってじんわり良さが伝わってきます。コロナ禍により一人ひとりの距離が遠のいてしまいましたが、展示された笑顔の写真を通して心の交流が深められたらと思います。先の見えない不安が続いていますが、笑顔の力で明るい未来が早く訪れることを信じて。

エコバッグ作り

プラスチックごみによる海洋汚染や生態系への影響が世界的に問題となり、レジ袋も有料化となりました。私たちにも何か環境問題への取り組みが出来ないかと考え、オリジナルのエコバッグづくりを企画しました。利用者や職員一人ひとりが無地のエコバッグに、ひらがな50音の型紙から好きな文字の一つを選び、青空の下、スプレーで着色していきました。スプレーで濃淡や混色でグラデーションをつけたり、手作りスタンプを思い思いに押ししたりと素敵なオリジナルエコバッグを作ることが出



来ました。「何故その文字を選んだの?」と聞きながら利用者・職員との交流を深める楽しい時間となりました。作品は施設内に展示をした後、エコバッグとして活用していただく予定です。



福祉作業所ひばり園

サツマイモの収穫

秋晴れの心地よい日に、約5か月間に渡り、大切に育ててきたサツマイモの収穫を行いました。

春に産久(サンキュウ)農園の小林様にお声かけをいただいたのをきっかけに、お借りした畑で利用者と共に農作業に挑戦しました。畑の様子を見ては、苗が成長する姿を見て喜び、夏の暑い日は熱中症に注意しながら除草作業やつる返しの農

作業に奮闘しました。

農作業では、時間を確保する上で日常の下請け作業や訓練の状況をみながら予定を立てていましたが、天候に恵まれないことも多々ありました。このような苦労を通して食べ物への感謝の気持ちと農作業をしなかったら知ることが出来なかった貴重な経験を得ることが出来ました。

収穫作業では、利用者の方も「サツマイモ掘りは小学生以来だ!」と笑顔のきっかけとなり会話も弾みました。丹精を込めて育てたサツマイモは、予想以上の豊作で当法人全体へお裾分けできる程でした。味の方も懐かしさを感じる優しい甘さで、有機肥料、無農薬での土壌作りからご尽力を頂きました小林様には深く感謝申し上げます。

宇宙船地球号

昨年12月に小惑星探査機「はやぶさ2」が、小惑星「リュウグウ」で小さな岩石などを採取したカプセルが地球に帰還したのはニュースでも話題となりました。今から6年前、はやぶさ2は、地球の海の水の起源や生命の原材料を探求する目的で、鹿児島県の種子島宇宙センターから旅立ちました。リュウグウは、地球から約3億kmの彼方にあり、光の速度でも約15分かかるそうです。

宇宙の話は、私たちの生活と関係の

ないように感じられますが、気がつかないだけで身近に活躍しています。例えば、人工衛星であれば、カーナビなどで使われているGPSをはじめ、通信や放送、気象などといった現代の生活に欠かせないものです。一見すると私たちの生活と関係がなさそうなものであっても意外と知らないところで関わっているものは多くあるものです。

私たちの生活は、一人ひとりが気づかないだけで様々な形で関わりをもって成

コラム「福祉の時をつかむ」

り立っています。新型コロナウイルスは、そのような環境だからこそ広まってしまったのではないかと考えます。一方、各国で新型コロナウイルスのワクチンの開発研究が行われ、海外ではワクチンの接種も始まりました。

新年を迎え、新型コロナウイルスによる難局を理解し、一人ひとりが宇宙船地球号の一員として正しい方向に進み、明るい未来が訪れることを願います。

そよかぜホームページ <https://soyokaze-hamura.com>

各事業所からのお知らせ



福祉作業所ひばり園

ひばり園では、毎年初詣に出かけていきましたが、今年はコロナ禍のため、みんなで思い思いの願い事を絵馬に書いて、園内に飾りました。新年への抱負だけではなく、「早くお出かけができますように」、「コロナが収まりますように」などと、不自由な日常を過ごしている中で切なる願いもありました。それぞれが新年への願いを書いたり、仲間がどんな願いを書いたかを読んで楽しみました。コロナ禍のため、今までの日常が一変してしまいましたが、2021年は少しでも明るい光が見えてくることを切に願うばかりです。

リサイクルショップくれよん

昨年は約3カ月の臨時休業、時間短縮営業などで大変ご不便をおかけしました。そのような中でも、たくさんのご来店・ご提供を頂きありがとうございました。

1/18(月)～1/29(金)に冬物半額セールを予定しております。今年も皆さまのご来店をスタッフ一同心よりお待ちしております。最後に初期メンバー 3人の抱負をご覧ください!



福祉作業所スマイル工房

毎年、新年初日に行っていた初詣と新年茶話会は、新型コロナウイルス感染拡大

の影響で残念ながら中止となりました。少しでも新年の雰囲気を楽しむため、作業終了後、利用者の皆様に紅白まんじゅうをお配りしました。また、1月下旬からバレンタインに向けたハート形のクッキーの製造販売を開始します。味は白・ごま・ココア・オレンジ・抹茶・シナモンの6種類で価格は1袋100円です。ご注文を承っていますのでお気軽にご連絡ください。

障害者就労支援センター エール

エールは、社会福祉法人そよかぜが羽村市の区市町村障害者就労支援事業の委託を受け、平成20年9月に開設した就労支援センターです。羽村市在住の障害のある方で、一般企業等への就職を希望されている方やすでに働いている方を対象に、就労に関するご相談や支援を行なっています。

利用時間：月曜～金曜日、午前9時～午後5時。各月の第一土曜日は開所。
※ご相談は予約をお願い致します。

資源回収のお問合せは「そよかぜ」へ。

編集後記

明けましておめでとうございます。年末年始いかがお過ごしでしたでしょうか。昨年は人と会いにくい一年でした。食事や外出などの機会もあまり持たず、肅々とすごしたように思います。それでも、スマートフォンやパソコンなど便利なコミュニケーションツールがある現代。近況報告やおしゃべりなどをし、心を通わせることができます。そよかぜでも事業所交流会はできませんでしたが、みんなで心を通わせようと様々な取り組みをしました。気にかけて思いやることの大切さをあらためて実感します。

各事業所の連絡先



社会福祉法人そよかぜ事務局	☎042-578-0855
福祉作業所ひばり園	☎042-555-5512
福祉作業所スマイル工房	☎042-578-2723
リサイクルショップくれよん	☎042-578-2575
羽村市障害者就労支援センター エール	☎042-570-1233
指定特定相談支援事業所ゆい	☎042-555-5512